



# Bulletin #5

16NJ 大会情報誌ブリテン第5号

平成25年5月発行

第16回日本ジャンボリー (16NJ)

第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー (30APRSJ)

日程 2013年7月31日(水)～8月8日(木) / 会場 山口市阿知須・きらら浜

## ■ ご挨拶



### チャオ・シュー・ポー

アジア太平洋地域スカウト委員会  
委員長

ご存じのとおり、地域ジャンボリーは常に若者たちが異なる国々から集まったスカウトたちと出会う特別な機会であり、私はこのジャンボリーに参加するすべての参加者にとって様々な方法でお互いのことを知り、学ぶ機会としていただきたいと思います。

ジャンボリーに参加することはスカウティングの醍醐味であり、スカウトたちは文化交流を通して、お互いの文化について学び、そのことによりお互いの友情を深めるという楽しい機会が与えられます。

7日間のジャンボリーは、すべての参加者に“スカウティングにおける連帯の本質”という忘れがたい経験を与えるでしょう。

ボーイスカウト日本連盟は、世界だけでなく地域のイベントを過去にもホストしており、私は日本連盟が、このジャンボリーがすべての人にとってユニークな機会となるように準備を進めていると確信しています。参加者たちが大いに楽しみ、大会終了後も楽しく何回も思い出すようなジャンボリーです。日本連盟の指導者たちはベストを尽くし、温かい日本のおもてなしを提供してくれるでしょう。きっと皆さんを楽しませてくれるでしょう。

これまで、このアジア太平洋地域スカウトジャンボリーの開催に向けて長い間、尽力してきた地域、世界のスカウトたちにお礼を申し上げます。

素晴らしいジャンボリーになることを祈っています。

## ■ 目次

- 01: ご挨拶
- 02: ご挨拶/大会組織  
大会参加者/参加予定国
- 03: プログラム (更新情報)
- 06: 会場到着・出発
- 07: 会場内での自転車の利用
- 08: ジャンボリー会場
- 09: ゴミの分別・収集  
16NJ 野営用資材
- 10: 参加隊の配給食 基本献立
- 11: 大会運営スタッフの給食 基本献立
- 12: 危機管理
- 13: セーフ・フロム・ハーム  
会場内の医療体制
- 14: 派遣団の健康と安全管理
- 16: スカウト通信員・県連盟広報担当者  
IST 情報
- 17: 大会ハンドブック/ジャムホテル  
ジャンボリー・ビルド・チーム公募
- 18: デイビジター (更新情報)
- 19: 大会記念品
- 20: 23WSJ スタディビジット  
16NJ 大会フェイスブックページ  
ジャンボリーソング  
派遣団レセプション  
これまでのブリテン  
今後の予定/お問い合わせ先

## ■ ご挨拶



### 西村 稔

23WSJ 実行委員長  
16NJ 副大会長

いよいよ第16回日本ジャンボリー／第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー開催まで残すところあと2ヶ月となりました。準備は万端でしょうか。

ご存じのように、16NJ／30APRSJは2015年に同会場で開催される第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）のプレジャンボリーとして開催され

ます。これまでのジャンボリーとは大会期間、プログラム、運営方法などが異なり、多くのチャレンジを伴います。また、大会期間中には、世界スカウト機構や23WSJに参加を予定している各国スカウト連盟の代表者が視察に訪れます。各派遣団の皆様には、この新しいジャンボリーに意欲的に関わっていただき、参加スカウトたちにとって素晴らしい体験となることを期待しています。

23WSJに向けて、本大会は多くの外国スカウトを迎えて開催されます。ぜひ、日本参加者の皆様はおもてなしの心で外国スカウトを迎え、交流してください。外国からの参加者は本大会で得た新しい友情や友好の輪を自国に持ち帰り、その友情が2015年に23WSJで再確認されることでしょうか。

きらら浜で会いましょう！

## ■ 大会組織

16NJは大会長、副大会長のもと、16NJ実行委員会、各部とその部長が大会運営の中心を担います。各部はブリテン3号に掲載されたそれぞれの役割に基づき、派遣団に必要なサービスを提供します。各派遣団とのコミュニケーションは、おもに派遣団サポート部を通じて行われます。また、大会期間中の各参加隊の窓口はサブキャンプ部が担います。

## ■ 大会参加者

16NJでは、2013年4月末日現在、日本国内から約12,500人、外国参加者は約50の国と地域から約1,500人、合計約14,000人の参加者が予定されています。

## ■ 参加予定国

16NJでは、以下の各国スカウト連盟から参加申込が届いています。この他にも、オペレーションきららなどによる多数の海外スカウトの招聘が予定されています。

### 【参加予定国】

アメリカ合衆国、イギリス、イスラエル、イタリア、インドネシア、エクアドル、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スリランカ、タイ、中国（台湾）、中国（香港）、中国（マカオ）、ネパール、バングラデシュ、フィリピン、ブラジル、マレーシア、モルジブ、ロシア







## ■ プログラム (更新情報)

### ● モジュールアクティビティ

#### 地球開発村 (GDV)

地球が抱える様々な問題に対して、「平和」「環境」「健康」「人権」「開発」「防災」の6つの視点から見識を深め、具体的な活動に向けたきっかけを提供します。世界の飢餓解決に取り組む世界食料計画 WFP 協会、都市化や居住に関する問題に取り組む国連ハビタット、子どもたちと共に貧困問題を解決するプラン・ジャパンをはじめとする世界で活動する16つの国際的な団体を県連盟派遣団提供プログラムに加え合計54ブースが出展予定です。

#### カルチャー (CRC)

日本各地や世界各国の音楽、踊り、衣装やクラフトを体験できます。大会のロゴでも使用されている水引作り体験、山形の花笠踊り体験、和太鼓体験や山口県内の文化である金魚ちょうちん作りプログラムなどが約50ブース提供されます。また、伝統工芸やアニメといった日本特有の文化を紹介するクールジャパンブースに加え、世界スカウト機構 (WOSM) で実施されているメッセンジャーズ・オブ・ピースに関するアクティビティが提供されるブースも設置されます。

#### サイエンス (COS)

飛行機が空を飛ぶ原理、マイクロ水車発電・カメラの仕組みなどを学ぶプログラムに加え、中国電力やヤクルトといった企業が設置するパビリオンでのプログラムが合計約30ブース提供されます。







### コミュニティ

山口県内の19市町を訪問し、オリエンテーション会場で地域社会の歓迎を受け、小中学校を訪問し地域の人たちや青少年との交流を深めるとともに、機械工場見学など地域に関連したプログラムが提供されます。

### ネイチャー

会場を一望できる藤尾山ハイキングや会場からほど近い歴史豊かな阿知須・秋穂のハイキング等に加え、セミナーパークでのロッククライミングやボルダリング、陶ヶ岳登山などのプログラムが予定されています。また、会場周辺から離れると、徳地青少年自然の家でのアドベンチャープログラムや光市での筏作りプログラムなど山口の自然を体験するプログラムが準備されています。

### 広島ピースプログラム

広島平和記念資料館や平和記念公園の見学をはじめ、近隣施設であるアステールプラザでは詩の朗読会、折鶴作り、書道体験などを通じた平和を考えるプログラムが提供されます。

### サブキャンプライフ

サブキャンプは、毎日食事をし、テントで睡眠をとり、同じ班や同じ隊の仲間たちとジャンボリー期間中に最も長い時間を過ごす場所です。つまり、大会期間中は参加者の家となり、一日を振り返り、仲間と気持ちを分かち合うとても大切な居場所になります。この生活そのものがジャンボリーの大きなプログラムになります。



今後、各モジュールのロゴが設定されます。



ロゴマーク例





### ● モジュールアクティビティのスケジュール

16NJではサブキャンプ(SC)ごとに参加できるモジュールアクティビティのスケジュールが異なり、参加隊は大会期間を通して3つの場内モジュールと、1つの場外モジュールに参加します。サブキャンプごと

にどの日にどのモジュールに参加するかが定められます。なお、外国参加隊はアルマジロ SC およびベア SC に配属され、場外プログラムは実施地の要望を考慮し、3つの場内モジュールと2つの場外モジュールに参加することになります。

サブキャンプ別モジュールアクティビティのスケジュール

サブキャンプ グループ	アニマルハブ										バードハブ			
	アルマジロ			ベア			キャメル		ディア		イーグル		ファルコン	
	A	B	C	A	B	C	A	B	A	B	A	B	A	B
8月1日(木)	開会式													
8月2日(金)	GDV			COS			CRC		GDV		COS		ネイチャー	
8月3日(土)	広島ピースプログラム			GDV			広島ピースプログラム		CRC		CRC		COS	
8月4日(日)	文化交流日													
8月5日(月)	CRC		コミュ ニティ	コミュ ニティ	ネイチャー		COS		COS		ネイチャー		GDV	
8月6日(火)	COS			CRC		コミュ ニティ	GDV		コミュ ニティ	ネイ チャー	GDV		CRC	
8月7日(水)	閉会式													

※アルマジロ SC とベア SC の C グループは外国参加者となります。

#### 文化交流日

8月4日は文化交流日として大会コンセプトのひとつ "Innovation" をテーマに、様々なアクティビティが実施されます。

- ・信仰奨励の集い：自身の信仰のみならず、世界にある様々な信仰について学びます。参加スカウトの出生、人種、信条に関係なく、ひとつになって平和を願い、対話を促します。
- ・山口の食材を味わう：山口の県産品を使った献立が用意され、山口の食文化について学びます。
- ・アリーナショー：日本各地の伝統芸能やパフォーマンスが披露されます。
- ・参加者の文化紹介：昼食から夕食の時間に、サブキャンプで参加隊同士が伝統芸能の披露などをおして交流します。

#### 開会式

テーマ：エナジー（力、Energy）

日 時：平成25年8月1日(木) 15:30～16:30(予定)

#### 信仰奨励の集い

日 時：平成25年8月4日(日) 9:30～11:00

#### アリーナショー

テーマ：イノベーション（革新、Innovation）

日 時：平成25年8月4日(日) 15:30～17:30(予定)

#### 閉会式

日 時：平成25年8月7日(水) 19:00～20:30(予定)

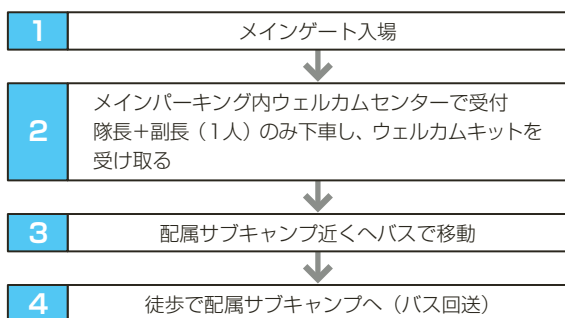
テーマ：ハーモニー（協調、Harmony）



## ■ 会場到着・出発

参加確定申し込み人数に基づいた県連盟派遣団の輸送に関する第2次調査を実施しています（5月末日回答締め切り）。

### ● 参加隊入退場フロー



### 1. 入退場日時

基本実施要領等で定められた次の日程により、入退場してください。7月29日（月）に入場する大会運営スタッフは、昼食を持参してください。（先発者には別途ご案内します。）入退場の時間は原則として、下表に示すとおりとしますが、前後する場合は23WSJ オフィス輸送部担当に事前にご確認をお願いします。大学生等で遅参するISTについては、8月4日（日）までに入場してください。

航空便等により7月31日（水）の入場が困難な外国参加者は、8月1日（木）の午前中までに入場します。

入 場	大会運営スタッフ	7月29日（月）※昼食持参 9時～14時までに入場
	参加隊 （スカウト・指導者）	7月31日（水） 9時～17時
	交替参加者 （後半参加）	8月3日（土） 9時～17時
退 場	交替参加者 （前半参加）	8月5日（月） 9時～17時
	参加隊 （スカウト・指導者）	8月8日（木） 9時～12時昼までに退場
	大会運営スタッフ	8月9日（金） 9時～12時午前中に退場

### 2. 資器材の輸送

各派遣団の資器材の輸送については、参加隊の集散時の混雑を避ける目的で、参加隊入場前に搬入し、参加隊退場後に搬出するため、次の日程と要領より計画しています。バスにより資器材を輸送する場合は、会場への入場時間の調整をお願いすることがあります。

#### (1) コンテナによる資器材輸送

- 使用するコンテナは運搬作業の効率、設置場所の有効利用のためJRコンテナ5トンタイプに限定し、参加隊3～5こ隊で1基を標準としてください。
- JR5トンコンテナの借用や運搬費用等については、各県連盟ごとに日本通運株式会社の最寄り支店と打合せのうえご契約ください。
- コンテナは、7月20日（土）から26日（金）の間にJR宇部駅もしくは防府駅に到着するよう最寄りの日本通運支店とご調整ください。
- コンテナは、7月28日（日）までに会場内に搬入し、大会運営スタッフの入場する29日（月）より利用を開始します。また、大会運営スタッフの退場する8月9日（金）で利用を終了し、10日（土）より会場から搬出し、全国への返送を行います。

#### (2) トラックによる資器材輸送

- トラックで資器材を輸送する場合には、次の日程により各サブキャンプ最寄りのコンテナ置き場で搬入・搬出作業をお願いします。集積された資器材は、参加隊が入場後に各キャンプサイトへ運搬し、退場前に集積します。参加隊がいない期間の保守、トラックの荷卸・積込は派遣団をお願いします。
- 搬入・搬出前は、メインパーキングで待機してください。
- 搬入は、7月29日（月）から30日（火）までに完了してください。
- 搬入後のトラックを留め置く場合には、会場内の留め置き駐車場をご利用ください。
- 搬出は、8月8日（木）の参加隊バスが完全に退出した後、夕刻頃から作業を始めます。



### 3.会場での参加隊の受付

隊長と副長（1人）の2人がバスを下車し、受付で名簿を確認し、ハンドブックやネックチーフ等の入ったウェルカムキット（箱）と、IDカードの束を受領して、バスに戻ります。

#### ○ウェルカムキットの標準内容物

スカウトハンドブック	× 36
指導者ハンドブック	× 4
クックブック	× 4
スカウトチーフ	× 36
指導者チーフ	× 4

日本からの派遣団については、大会の参加章（ワッペン1人2枚）は事前配布を予定しています。

### ■ IDカードについて

16NJのIDカードは、入退場などの記録を行うICチップ入りのものと、同型の通常カードがあります。

指導者はICチップ入りの個人用IDを1人ひとりが着用し、スカウトはICチップなしの個人用IDを1人ひとりが着用します。そして班長は個人用に加えて、班用のICチップ入りのカードをあわせて着用します。

#### ○標準隊のIDカード数

指導者個人用（ICチップ入り）	× 4
スカウト個人用（通常カード）	× 36
班用（ICチップ入り。各班長が身につける）	× 4

## ■ 会場内での自転車の利用

業務上必要な大会運営スタッフ（ただし高校生年代のISTは除く）、派遣団本部員、大会協力者は自転車を利用することができます。

会場内では交通ルールに従い、車道を通行し、ヘルメットを着用します。

さらら博記念公園内では自転車は通行できません。所定の駐輪場所（中央駐輪場・東駐輪場）に駐輪してください。また、サブキャンプ内（参加者・成人）で

は、サブキャンプ広場まで自転車で乗り入れ、キャンプサイト内へは自転車を押して移動してください。

派遣団で自転車を持ち込む場合には、輸送に関する第2次調査で、自転車1台につき利用者名、所属、役務、16NJの参加区分等による事前登録が必要です。また、会場で輸送部より、ヘルメットの持参を確認して、「通行許可証」を発給します。





会場図は上記のとおり変更となりました。

## ■ ジャンボリー会場

### ● 会場施設・設備

#### 1. プラザ

会場には、参加者や来賓者に向けた記念品やお土産、サービス等を扱うプラザが設置されます。

- ・スカウトショップ：大会の記念品、23WSJ記念品の他、スカウト用品を扱います。
- ・ミニステージ：来賓者ショーや、山口県の魅力発信ショーが行われます。
- ・郵便サービス：移動郵便局による ATM や郵便窓口サービスが行われます。
- ・写真サービス：参加隊の集合記念写真撮影サービス、電池やメディア、フィルム等の販売、バッテリー充電サービスなどが予定されています。
- ・飲食：来賓者に向けた軽食・弁当などが販売されます。
- ・その他：生活雑貨や飲料、お土産品などが販売されます。

#### 2. APR (ワールド) スカウトセンター・大会本部

きらら博記念公園の多目的ドーム内には APR (ワールド) スカウトセンターと大会本部が設置されます。APR (ワールド) スカウトセンターには、参加者や来賓者が訪れ、各国連盟や都道府県連盟によるスカウト運動の紹介・展示により、スカウト活動の変容や多様性について見る事ができます。これらの展示場所は派遣団本部としても機能します。

ドーム内にはビジネスセンターが設置され、派遣団へ向けた情報を得る事ができます。

#### 3. アリーナ

きらら博記念公園のスポーツ広場にアリーナを設け、開閉会式やアリーナショー等を実施します。

#### 4. 信仰奨励エリア

信仰と信条の実施場所として、各教宗派による展示や祈りの場を設けます。

#### 5. プログラムエリア

場内プログラムの地球開発村 (GDV)、科学の都市 (COS)、文化の交差点 (CRC)、各モジュールごとに活動場所が設置されます。

#### 6. メインパーキング

メインパーキングには、大会運営スタッフ等の留置駐車場、来賓者、ゲストの駐車場が設置されます。

また、集散のバスが待機したり場外プログラムバスに乗降するバスターミナル、参加者・来賓者・ゲストの受付を行う「ウェルカムセンター」が設置されます。

### ● 参加隊サブキャンプ

参加者は、6つのサブキャンプ (SC) に別れ、それぞれおよそ50名、2,000人が生活します。

23WSJに向けたリハーサルのため外国参加者

#### アニマルハブ SC ロゴマーク例



#### バードハブ SC ロゴマーク例





は、アルマジロ、ベア2つのSCに配属されます。  
ジャンボリー大通りをはさんで西側の4つのSCと東側の2つのSCでそれぞれハブを構成します。

### 1. キャンプサイト

1 区隊40人に対して約20m×25mのキャンプサイトが提供されます。

班・隊の調理場所は、防火のため、通路に面した場所に設置してください。また、隣のサイトと適切な間隔を空けてテントを設営してください。各隊のキャンプサイトには電気は供給されません。

### 2. 飲料水

2つのサブキャンプに対して1か所の水汲み場を設置し、飲用に適した山口市の水道水を供給します。各隊で容器に汲んでキャンプサイトで使用します。

### 3. トイレ

2つのサブキャンプに対して1か所のトイレを設置します。各トイレは男女別に分けられ、手洗い場を備えます

### 4. シャワー

参加者のシャワーは会場内1か所に集約して設置されます。指導者とスカウト用にそれぞれ男女別に温水シャワーが用意されます。

### 5. 共有施設

各ハブには、朝夕の時間帯にハブ救護所（ハブクリニック）が開設され、医師または看護師が待機して、指導者の応急処置を超えた治療に対応します。

2つのサブキャンプに対して1か所の配給所が設置されます。

ハブには飲料等の販売を行う売店を設置する予定です。また、有料になりますが、ハブまたはサブキャンプで充電サービスが予定されています。

## ● 成人生活エリア

県連盟派遣団本部員、ISTなどの大会運営スタッフ、高校生年代ISTは成人生活エリアでキャンプします。成人生活エリア内は、18歳以上の大会運営スタッフと高校生年代ISTの2つに分かれて利用します。

派遣団ごとにキャンプサイトが提供され、40人に対して約20m×20mを標準とします。

派遣団で準備するテントとペグの利用については、ブリテン第4号を参照してください。

成人生活エリアには、本部食堂、トイレ・シャワー設備が設置されます

## ■ ゴミの分別・収集

大会のゴミは、山口市の分別に従い次のとおり収集します。2つのサブキャンプに1か所の集積所を設置し、燃やせるごみは毎日、その他のごみは大会中日と最終日に収集します。

- (1) 燃やせるごみ（可燃物）／生ごみ、紙くず、木くず、プラスチック製容器包装
- (2) 燃やせないごみ（不燃物）／主に金属ごみ、陶器・ガラス類、配給以外の燃料缶・スプレー缶
- (3) 資源物／缶、びん、ペットボトル、ダンボール

## ■ 16NJ 野営用資材

16NJでは日本からの参加隊を対象に野営用資材セットを事前申込により販売します。価格および申込方法については今後各都道府県連盟にご案内します。

品目	数	仕様
たるき	6本	4.5cm×4.5cm×4m
コンパネ	8枚	90cm×180cm×9mm
竹	14本	直径4～6cm×4m

## カセットこんろ およびカセットガスについて

大会の炊事用燃料は、「イワタニ（岩谷産業）」のカセットガスを配給しますので、同一メーカーの器具を持参してください。燃料のカセットガスは、フライ等の日陰に保管し、炎天下となる日なたや高温になる密閉されたテント内には保管しないでください。使用済みの空き容器は、大会として一括処理しますので、ガスが空になったのを確認したら、**穴を空けず**にそのままサブキャンプにて回収します。カセットガスの持ち込みなどで遠慮ください。カセットこんろとカセットガスの安全な取り扱いについては下記ホームページを参照してください。



### 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会

ガス機器の安全な使い方（含むカセット・キャンプガスボンベ）

<http://www.jgka.or.jp/consumer/gasuriyou/anzen-gasu/index.html>

## 参加隊の配給食 基本献立

16NJ ブリテン4号で大会運営スタッフ・参加隊共通の基本献立をお知らせしましたが、より効率的に大会を運営するため、配給献立が一部変更となり、調味料/ルー類により複数味のメニューへと工夫できる食材を提供します(下記は基本例です)。

外国隊には、ごはん(米)、パスタ類、ヌードル、パン類から選択できるよう配慮します。

最終日8日朝食は「日保ちする避難時携行食」ですが、実際の避難(非常)時を想定すると、避難先への配給は困難であることから、会期の最初に事前配給

とします。各隊内での保管をお願いします。

### ●クックブックについて

下表は参加隊配給の基本献立で、他にイスラム(ハラール)、ベジタリアン向けの献立がありますが、詳細は今後発行される「クックブック」に掲載されます。またこのクックブックには「日々のメニューと基本調理方法、味付けの工夫、配給時の荷姿(パッケージ)、アレルギーに関する食材等諸注意事項、など」が掲載されますので、確認をお願いします。

日程	朝食	kcal	昼食	kcal	夕食	kcal	kcal合計
7月31日(水) 参加者入場・ 設営					茄子入りキーマカレー サラダ、パイン缶、マンゴー ジュース、麦茶	913	913
8月1日(木) 開会式	ごはん、ジャンボオムレツ、 グリーンサラダ、味噌汁、 麦茶、グレープフルーツ ジュース	829	牛乳サンドパン、ブリッチ チーズ、ポテトチップス、 りんごゼリー、オレンジ ジュース	1246	スパゲティ、ロールキャベ ツ、オニオンコンソメ、サ ラダ、白桃缶、アップル ジュース、麦茶	778	2853
8月2日(金) プログラム	ドックパン(2)、ハムエッ グ、ポテトサラダ、ポター ージュスープ、牛乳、麦茶、	860	デニッシュパン(リンゴ)、 もちっとサンド、ミックス ゼリー、グレープフルーツ ジュース	1216	ごはん、煮込ハンバーグ、 オニオンコンソメ、サラダ、 フルーツカクテル缶、オレ ンジジュース、麦茶、	967	3043
8月3日(土) プログラム	ロールパン(2)、スクラン ブルエッグ、パンプキンサ ラダ、トマトスープ、牛乳、 麦茶	547	くるみバターパン、5色豆 のカスタード、バナナ、ソイ ジョイアップル、パイナッ プルジュース、	1049	ごはん、回鍋肉、野菜と卵 の具だくさんスープ、杏仁 豆腐、グレープフルーツ ジュース、麦茶	1040	2636
8月4日(日) 全体行事	ごはん、具沢山味噌汁、か まぼこ、焼き海苔、麦茶、 アップルジュース、	733	山口学校給食コッペパン、 メロンパン、魚肉ソーセー ジ、オレンジジュース、リ ンゴゼリー	950	ごはん、夏野菜カレー、山 口梨、マンゴージュース、 麦茶	889	2572
8月5日(月) プログラム	BLT サンド、ポタージュ スープ、牛乳、麦茶	639	ビーンズロールパン、チー ズかまぼこ、山口りんご、 ソイジョイアプリコット、 グレープフルーツジュース	890	ごはん、豚の生姜焼き、オ ニオンコンソメ、サラダ、 トロピカルフルーツ、オレ ンジジュース、麦茶	1192	2712
8月6日(火) プログラム	ソーセージドックパン (2)、マカロニサラダ、オ ニオンコンソメ、ヨーグル ト、麦茶、グレープフルー ツジュース	879	デニッシュ小倉パン、くる みパン、ミックスゼリー、 魚肉ソーセージ、パイナッ プルジュース、	1223	スパゲティ、ロールキャベ ツ、ポターージュスープ、サ ラダ、パイン缶、アップル ジュース、麦茶、	791	2893
8月7日(水) 閉会式	ごはん、ハムエッグ、パン プキンサラダ、味噌汁、麦 茶、オレンジジュース	890	黒糖サンドパン、バーム クーヘン、オレオ、バナナ、 アップルジュース	1034	ごはん、煮込ハンバーグ、オ ニオンコンソメ、サラダ、フ ルーツカクテル缶、グレー プフルーツジュース、麦茶、	953	2877
8月8日(木) 参加者退場	リッツクラッカー、ソイ ジョイカカオオレンジ、魚 肉ソーセージ、ようかん、 アップルジュース	794					794

※上記基本献立内容は、2013年5月現在のものです、今後の価格や気候の変動により調達計画が変更されることがあります。

### ●その他、食材配給の基本的事項

※ごはん(生米)の配給は「1人1食あたり120gを基本＝炊くと180g」で、普通のご飯茶碗で「大盛1膳分に相当」します。また、副長の交代参加(重複参加)を考慮し、大袋での配給を予定しています。

※朝食は「簡易調理(ひとつの鍋使用と湯沸し程度)で完成できるメニュー」としてしています。

※8月4日(日)は「文化交流日」で、食事のテーマは「山口の食材を味わう」として、山口県産食材を使用した食事とする計画です。



## ■大会運営スタッフの給食 基本献立

本部食堂の献立は、外部給食施設で調理したものを提供するため、自炊調理である参加隊用献立とは異なります。

また、本部運営スタッフ用食堂献立にも基本食、食事

制限に対応したハラール食、ベジタリアン食があります。

本部食堂を利用になる際には、**はし、スプーン、コップ**などをお持ちください。加えて、朝食時には、**昼食**を受け取るための**エコバッグ**などをお持ちください。

日程	朝食	kcal	昼食(携行食)	kcal	夕食	kcal	kcal合計
7月29日 (月)					ごはんまたはパスタ、鶏唐揚げ、キャベツ・レタス、中華スープ(コーン、卵)、杏仁豆腐、ドリンクバー	952~1,005	952~1,005
7月30日 (火)	ドックパンまたはシリアル、ソーセージ、マカロニサラダ、ポタージュスープ、アップルジュース、ドリンクバー	803~876	デニッシュ小倉パン、くるみパン、ミックスゼリー、パイナップルジュース、魚肉ソーセージ	1,223	ごはんまたはパスタ、三元豚のカツレツ、コンソメスープ、みかん、コールスロー、ドリンクバー	777~830	2,803~2,929
7月31日 (水)	ロールパンまたはシリアル、ハム・オムレツ、ポテトサラダ、パンクンスープ、オレンジジュース、ドリンクバー	577~663	黒糖サンドパン、バームクーヘン、オレオ、バナナ、アップルジュース	1,034	ごはんまたはパスタ、煮込ハンバーグ、コンソメスープ、キャベツ・レタス、フルーツカクテル、ドリンクバー	881~934	2,492~2,631
8月1日 (木) 開会式	食パンまたはシリアル、野菜スクランブルエッグ、コンソメスープ、グリーンサラダ、グレープフルーツジュース、ドリンクバー	677~794	牛乳サンドパン、プリリッチチーズ、ポテトチップス、りんごゼリー、オレンジジュース	1,246	ごはんまたはパスタ、豚肉の生姜焼き、味噌汁、キャベツ・レタス、トロピカルフルーツ、ドリンクバー	846~899	2,769~2,939
8月2日 (金)	食パンまたはシリアル、ベーコン、トマト・レタス、カレーコンソメスープ、アップルジュース、ドリンクバー	486~566	デニッシュリンゴパン、もちっとサンドパン、ミックスゼリー、グレープフルーツジュース	1216	ごはんまたはパスタ、チキンカレー、キャベツ・レタス、オニオンスープ、パイナップル、ドリンクバー	972~1,025	2,674~2,807
8月3日 (土)	食パンまたはシリアル、スクランブルエッグ、パンクンスープ、コンソメスープ、オレンジジュース、ドリンクバー	692~748	くるみバターブレッド、5食豆のカスタード、バナナ、パイナップルジュース、ソイジョイアップル	1,049	ごはんまたはパスタ、鶏唐揚げ、キャベツ・レタス、中華スープ(コーン、卵)、杏仁豆腐、ドリンクバー	952~1,005	2,693~2,802
8月4日 (日)	ごはん、具沢山味噌汁、かまぼこ、焼き海苔、グレープフルーツジュース、ドリンクバー	712	山口学校給食コッペパン、メロンパン、魚肉ソーセージ、オレンジジュース、りんごゼリー	950	ごはんまたはパスタ、夏野菜カレー、キャベツ・レタス、山口梨、ドリンクバー、(山口県支援弁当調整中)	812~865	2,474~2,527
8月5日 (月)	ドックパンまたはシリアル、ソーセージ、マカロニサラダ、ポタージュスープ、アップルジュース、ドリンクバー	803~876	ビーンズロールパン、チーズかまぼこ、山口りんご、ソイジョイアプリコット、グレープフルーツジュース	890	ごはんまたはパスタ、三元豚のカツレツ、コンソメスープ、みかん、コールスロー、ドリンクバー	777~830	2,470~2,596
8月6日 (火)	ロールパンまたはシリアル、ハム・オムレツ、ポテトサラダ、パンクンスープ、オレンジジュース、ドリンクバー	577~663	デニッシュ小倉パン、くるみパン、ミックスゼリー、パイナップルジュース、魚肉ソーセージ	1,223	ごはんまたはパスタ、煮込ハンバーグ、コンソメスープ、キャベツ・レタス、フルーツカクテル、ドリンクバー	881~934	2,681~2,820
8月7日 (水) 閉会式	食パンまたはシリアル、野菜スクランブルエッグ、コンソメスープ、グリーンサラダ、グレープフルーツジュース、ドリンクバー	677~794	黒糖サンドパン、バームクーヘン、オレオ、バナナ、アップルジュース	1034	ごはんまたはパスタ、豚肉の生姜焼き、味噌汁、キャベツ・レタス、トロピカルフルーツ、ドリンクバー	846~899	2,557~2,727
8月8日 (木)	食パンまたはシリアル、ベーコン、トマト・レタス、カレーコンソメスープ、アップルジュース、ドリンクバー	486~586	くるみバターブレッド、5食豆のカスタード、バナナ、パイナップルジュース、ソイジョイアップル	1,049	ごはんまたはパスタ、チキンカレー、キャベツ・レタス、オニオンスープ、パイナップル、ドリンクバー	972~1,025	2,507~2,660
8月9日 (金)	リッツクラッカー、ソイジョイ、カカオオレンジ、サラミ、ようかん、アップルジュース	890					794

※ごはん、パン、シリアル、パスタ等の選択は、外国人大会運営スタッフ向けの対応です(参加隊配給食と同様)。

※上記基本献立内容は、2013年5月現在のもので、今後の価格や気候の変動により調達計画が変更されることがあります。

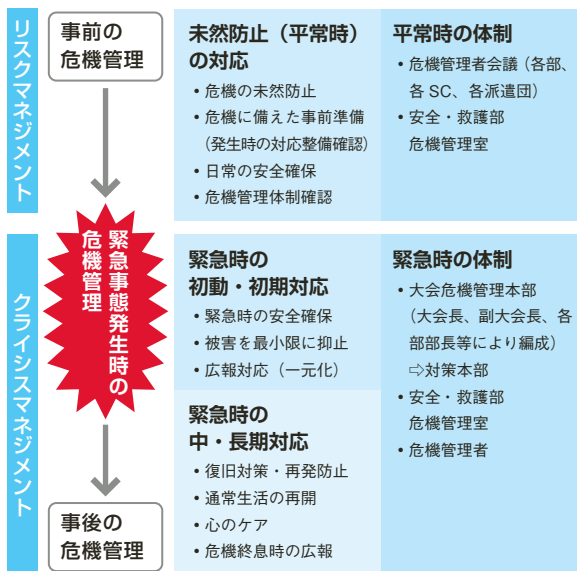


## 危機管理

16NJ / 30APRSJ では、参加者・大会運営スタッフ・来賓・見学者等来場者の生命を守るとともに、様々な危険から守ることを目的に危機管理を行います。

ここでいう危機管理とは、危機が起こらないように対処する活動・未然に防ぐことができない自然災害等への備えを意味する「リスク・マネジメント」、そして、危機発生時に被害を最小限にすることと再発防止の活動である「クライシス・マネジメント」の2つに定義されます。セーフ・フロム・ハーム事前研修もこの危機管理の一環として行われます。

### ●危機管理の対応



### ●危機管理体制

#### ①大会危機管理本部

大会危機管理本部長（大会長） 副本部長（副大会長）、本部員、各SCチーフ、各モジュール長、安全・救護部危機管理室、各部・各SC・各プログラムの危機管理者により構成されます。

大会危機管理本部責任者は、必要に応じて構成員により「大会危機管理本部会議」を開催します。また、必要に応じて関係する各国・各県連盟派遣団長を加えて招集します。

#### ②対策本部（緊急事態発生時）

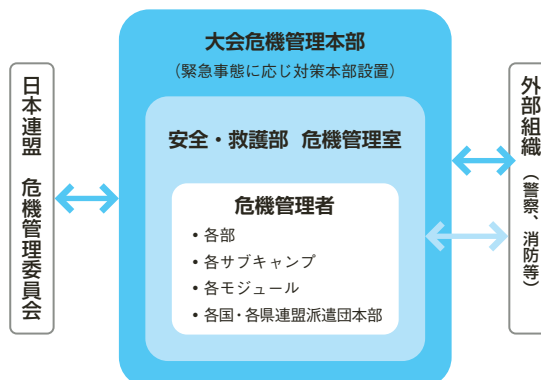
大会危機管理本部は、緊急事態が発生または発生が見込まれる場合、同本部の構成員を中心とした対策本部を設置します。

#### ③安全・救護部 危機管理室

安全・救護部に危機管理室を置き、平常時には危機管理者と連携して大会全体の対応を行います。

#### ④危機管理者

各部副本部長、各サブキャンプ、各モジュール、各国・各県連盟派遣団本部（副団長）に危機管理者を置き、平常時は安全・救護部の危機管理室と連携して対応を行います。また平常時、「危機管理者会議」を開催し危機の未然防止に備えた情報の共有を行います。（従来の日本ジャンボリーでは安全管理者を置きましたが、範囲を広げ危機管理者とします）



危機管理体制に基づき、津波、食中毒など様々な対応方法が定められます。





## ■ セーフ・フロム・ハーム

これまでのプリテンでご案内してきましたとおり、16NJではセーフ・フロム・ハーム事前研修を18歳以上の参加隊指導者・大会運営スタッフ全員を対象に導入します。この事前研修では、いじめ、身体的虐待、心理的虐待、無視、性的虐待、搾取などに対する認識を深め、大会期間中に問題が起きた場合の対処法・予防方法を学びます。

履修にあたっては、氏名・メールアドレス等を登録のうえ、WEBで履修してください。4月の導入開始から大会当日まで履修可能です。WEBでの履修が困難な方には、紙媒体による学習も可能となります。

事前研修の修了には、最終テストでの合格が必須となります。テストに合格すると修了証を受け取ることができますので、印刷して会場までお持ちください。

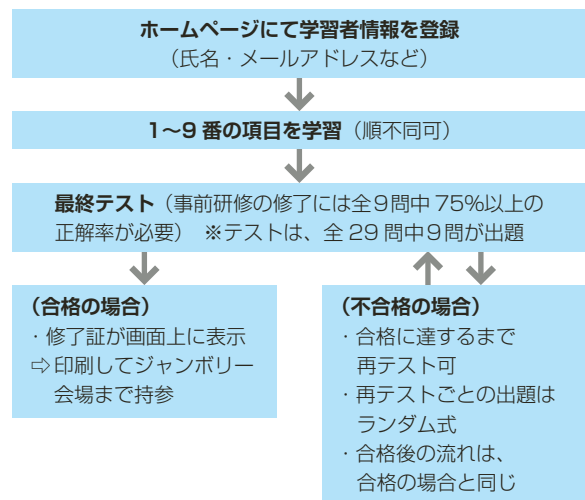
### 1. 学習対象者

- ・参加隊指導者
- ・IST ※ VS-IST を除く
- ・JDT・JCT・JMT・JPT
- ・派遣団本部長

### 2. 実施期間

eラーニング導入開始～大会当日

### 3. 学習方法



### 4. WEB 上での履修方法

WEB 上での履修については、大会ホームページ (<http://www.scout.or.jp/16NJ/index.html>) で公開され、履修が可能になっています。

### 5. WEB での事前研修の履修が困難な場合

WEB での履修 (eラーニング) が困難な場合は、紙媒体の履修が可能です。紙媒体による履修をご希望の場合は、所属県連盟を通じてジャンボリーオフィスまでお問い合わせください。

## ■ 会場内の医療体制

会場内の参加者の健康管理と傷病に対して、次のとおり医療体制を整えます。

### 1. 中央救護所 (ジャンボリーホスピタル) 1 か所

キャンプ生活が困難な傷病者を受け入れ、会場内で可能な限りの医療処置を行います。検査や手術など複雑な処置が必要な場合は近隣の病院へ搬送されます。場外病院での治療・薬代は自己負担となる他、スカウトの場合には引率する指導者が必要となり、病院から会場への帰営は派遣団で対応することがあります。

### 2. ハブ救護所 (ハブクリニック) 2 か所

参加者のハブには、朝夕の時間帯にハブクリニックが開設され、医師または看護師が待機して、指導者の応急処置を超えた治療に対応します。成人生活エリアはジャンボリーホスピタルで対応します。

### 3. ファーストエイドポイント

アリーナで全体行事が実施される日時に、応急処置のスタッフが待機して、休憩スペースを設けます。

## ■ 派遣団の健康と安全管理

### § 1. 出発前までにすること

#### 1-1. 参加スカウトの顔と名前を覚える

派遣団の健康管理と事故予防の第一歩として、参加スカウトの顔と名前を覚えることを徹底してください。また、所属団の指導者からスカウトの情報を得るとともに、保護者にスカウトの健康状態と治療の際の特別な要望（輸血の拒否など）の有無を確認し、必要時に救護所スタッフに伝えられるようにしておいてください。

#### 1-2. 健康安全に関する担当指導者を決める

各隊で健康安全に関する担当指導者を選任し、健康安全について隊全体を見渡せる責任者を置くことを勧めます。この担当者は救急法（日赤・消防等）の一般講習修了者など疾病の対処法においても心得のある方が望ましいと言えます。

長期野営では、ホームシック等のメンタル面の問題、また女性特有の問題への配慮が必要になります。指導者は各スカウトの体調のみならず精神面や人間関係にも配慮してください。

#### 1-3. 予防接種（破傷風・麻疹）を済ませる

麻疹と破傷風の予防注射を全員済ませているか、保護者を通じて母子手帳等で必ず確認させ（破傷風は通常10年有効）、未接種であれば受けるように勧めてください。

《確認のしかた》

- ・麻疹：MR（麻疹、風疹）ワクチンがきちんと2回接種されているか
- ・破傷風：11歳から12歳時のDT（ジフテリア、破傷風）ワクチンが接種されているか

#### 1-4. 会場に病気を持ち込まない

これまでの大会では、感染が分かっているながら参加を強行した人によって持ち込まれた流行性角結膜炎が大流行したことがあります。参加1週間前からは毎日の検温や食欲、便通等健康状態の把握に努めるように参加者（スカウトの場合は本人と保護者）に促してください。その上で、出発時に体調不良がある場合は無理をさせず、参加を見合わせる・出発を延期するなどの配慮をお願いします。

#### 1-5. 刃物の取り扱いに習熟させる

過去のジャンボリーでは毎回ナイフ・ナタ等による外傷者が多数出ています。予防策として、事前訓練において刃物類の使用に十分習熟させることが必要です。また、特に左利きのスカウトには通常の刃物に使い慣れているかどうかを確認するか、可能なら左利き用の器具を準備するなどしてください。

#### 1-6. 健康上特別な配慮が必要な場合

夏期の10日間におよぶ長期野営ですので、指導者・スカウトを問わず、健康上の問題のある方は参加の可否も含めて慎重な判断が望まれます。救護所では病院のような設備はなく、特殊な医薬品・機材は限られています。治療中の病気や特別な配慮が必要なものにつきましても、事前に主治医と相談される様をお願いします。

### § 2. 参加中の健康管理

#### 2-1. 健康状態の把握

疾病予防のための健康チェックは毎日行いましょう。各個人単位、班単位、隊単位の3つのレベルであれば完璧です。

- a) 個人単位では、参加者ひとりひとりが、睡眠・食事・排泄・その他の体調・気力・楽しんでいるか等、毎日自己診断して記録するようにスカウトに指導してください。
- b) 班単位では、班長あるいは班の健康担当が班員の健康状態の把握に努めるようにスカウトに指導してください。班員の健康チェック表を毎日作成し、食欲や顔色なども観察、記載するようにさせましょう。
- c) 隊単位においては、隊の健康担当指導者は、個人・班単位のチェック表を見るだけではなく、五感をすべて動員して、各スカウトの顔色・表情・言動・エンジョイしているか等を観察しましょう。

#### 2-2. 各種疾病予防対策

野外活動における3大傷病は『感染症』『熱中症』『外傷』で、これらの発症は活動時期、活動内容、活動場の環境によって大きく左右されます。救護係や安全管理担当者はこのことをよく認識して予防策を講じ、また万が一の時には適切に対処する能力を身につけていなくてはなりません。

##### a) 熱中症・日射病

会期中の会場の気候は、晴天が続く最高気温35℃（猛暑日）に近くなり、暑さが厳しい地域です。また、樹木による日陰が少ないので、隊サイト内にフライやタープを張り日陰を確保しながら、宿泊するテント内の換気にも注意が必要です。活動時においては、次の事項に留意して、熱中症の予防と日焼けの防止に心がけてください。

水分補給は、スカウトに任せる「自由飲水」だけでなく、指導者が時間を決めて活動を休止し、定期的に全員一斉に補給させる「強制飲水」を併用してください。塩分も積極的にとりましょう。スポーツドリンクの塩分は意外と少なめです。経口補液療法（ORT）として、水1ℓに食塩小さじ1/2と砂糖小さじ3を混ぜてドリンクを作り飲む方法もあります。



予防には次のことを配慮してください。

- ①首筋や背中を直接日光にさらさないよう、作業帽と服装に注意する。
- ②炎天下での作業では、適時、日陰での小休止、水分、塩分の補給に配慮する。また、プログラム活動中には飲料水の携行を徹底する。
- ③基本日課に基づき、食事と睡眠を十分にとる。

#### b) 皮膚疾患

日焼け、靴擦れ、アセモ、湿疹等の皮膚疾患は多く発生します。日焼けは“やけど”であり、予防が肝心です。日焼け止めを使用し、炎天下では肌の露出に注意してください。帽子はハットがベストです。キャップであればタオルで耳・頂(うなじ)を保護させるよう徹底してください。水泡・痛み・発赤がひどい場合は救護所を受診してください。

#### c) カ(蚊)対策について

16NJ会場では特に夕刻に蚊による虫刺されが多発すると予想されます。ひどく腫れて発熱するような場合は救護所を受診してください。

## 2-3. 外傷処置

傷口はきれいな水(水道水でよい)で十分に洗うことが大切です。消毒液を使う必要はありません。傷を洗うときはビニール手袋をして、砂やトゲなどの目に見える異物は爪楊枝などを使っていねいに取り除きましょう。

最近の創傷治療の知見では、創部の消毒・乾燥は治療をむしろ遅らせるといわれています。創部の保護は、ラップ等を当ててその上からガーゼとかキッチンペーパー等浸出液を吸収するものを置いてください。浸出液吸収型の絆創膏(FCワンタッチパッド®とかバンドエイドキズパワーパッド®等)を使うのも良い方法です。

## 2-4. 薬の投与について

内服薬、外用薬ともに指導者の判断での投薬は原則として行わないでください。参加者は各自、持病の治療薬、風邪薬、虫除け薬(ブヨにも効く成分の入ったもの)、虫刺され薬、生理用品等を持参し、自己判断で使用できるようにしておいてください。

## 2-5. 各隊での応急処置について

基本的な応急処置は各隊において行う必要があります。指導者は、ボーイスカウト救急法講習会で指導しているレベルまでは各自で行う心構えが大切です。スカウトもターゲットバッジに挙げる内容は実施できるように指導されていることが望ましいと言えます。

## 2-6. 各隊で用意すべき救急用品(例)

安全管理担当指導者は各隊に1セット以上、救急箱を用意してください。セットの例を以下に挙げます。

原則として薬品は各個人が自分に合ったものを用意し、救急箱に入れないでください。

- (ア) 応急絆創膏(キズパワーパッドなど)／大小各種
- (イ) ラップまたは創部用ドレッシングテープ
- (ウ) 滅菌ガーゼ／同
- (エ) 包帯(伸縮性のものがベター)／同
- (オ) 包帯止めまたは固定用テープ
- (カ) テーピング用テープ
- (キ) 三角巾／2枚以上
- (ク) 綿棒
- (ケ) ペットボトル水500ml／1本以上(洗浄・飲用)
- (コ) 体温計(水銀式体温計不可。必要なものは電池交換しておくこと)
- (サ) ピンセット、毛抜き
- (シ) 爪切り
- (ス) ハサミ
- (セ) ビニール袋
- (ソ) プラスティック手袋
- (タ) 手指消毒用アルコール
- (チ) 懐中電灯(ペンライト)および予備電池
- (ツ) 使用記録ノート・筆記具

## 2-7. 指導者の受傷予防・疾病管理について

野外活動では、指導者のけがも多く発生しています。過去数年間の事故データの分析によると、全事故件数の2割以上を指導者の事故が占め、その6割が運動器系のけが(骨折、捻挫、肉離れ、じん帯損傷など)となっています。また、長期間の野営となりますから、高血圧や糖尿病などの持病のある人は症状が悪化する可能性があります。体調を整えた上で参加し、会期中も自己管理を徹底するなど、指導者自身の健康安全管理についてもご注意ください。

## § 3. 大会終了後に行うこと

### 3-1. 保護者や原隊指導者への申し送り

参加期間中に発症した疾病について、大会終了後も経過観察が必要なことがあります。例えば、縫合処置後の抜糸、頭部打撲後の観察期間、感染が疑われる場合の潜伏期間中の観察などです。また、救護所や場外病院の医師より地元の医療機関宛に紹介状が書かれることがあります。これらの情報を誤りなく保護者等に申し伝えることを忘れないようにしましょう。

### 3-2. アフターケア

帰宅後に体調を崩したり、メンタルな問題を引きずったりしていないかどうかを、本人・保護者・原隊の指導者等を通じて情報収集しフォローアップしておくことが大会を安全に終了し、楽しい思い出にしてくれる最後の仕事となります。

## ■ スカウト通信員・県連盟広報担当者



各国・各都道府県へ向けた広報窓口として、各参加隊の通信員（ヤング・コレスポンデント）は諸外国、日本全国へのジャンボリー広報に努めます。そのために、各派遣団におかれる各国・各県連盟の広報担当者や参加隊の隊長の支援を受けながら、各地元メディアへの情報発信を行います。

将来メディア関係の仕事を目指すスカウトにとってはこのプログラムは有益な体験の機会となり、そうでないスカウトにとっても所属隊や連盟の仲間に貢献する機会としてやりがいのある経験となります。

通信員最初のミーティングでは、さらに大会を代表するスカウトとしてスカウト報道官（ヤング・スポークスパーソン）を選出し、報道機関の取材や大会記録ビデオに対応することになります。

### ■ 主な予定

#### ①キックオフミーティング

【8月1日（木）開会式の後、実施を予定2時間程度】  
基本ガイダンス、チーム編成、報道官選出、メディ

アセンター利用ガイド等

（報道官のための追加ミーティングは翌日の夜などに設定する）

#### ②各種プレスカンファレンス

毎日何らかのプレスカンファレンス（記者会見）の場が設定されます。興味のあるスカウト通信員がこれに参加します。ここでの取材活動は、ジャンボリーメディアで取り上げられることがあります。

※例：GDV 出展団体へのインタビュー、セレモニーゲストへのインタビュー、初めて参加した国のスカウトへのインタビュー、次のAPRジャンボリー開催地となるモンゴルへのインタビューなど

#### ③フェイスブック運用

各隊に設けるフェイスブックページに、日々様々な隊の出来事を隊長と協力してアップしていきます。投稿内容によってジャンボリー本体のフェイスブックにも掲載されます。

※このブリテンの発行に合わせて、各参加隊の隊長へフェイスブック運用のための案内が送られています。通信員と隊長、県連盟広報担当者が連携して、大会参加に向けての隊の様子などから運用を始めてください。

#### ④地元メディアへの連絡・発信

隊長および各国連盟・県連盟の広報担当者の支援を受け、スカウトはそれぞれの地元の報道機関への16NJ情報発信に努めます。大会期間中は、ジャンボリー本部のメディアセンターが記事作成や原稿送信など、スカウト通信員への支援を行います。

#### ⑤全国・海外メディアへの対応

キックオフミーティングで選出された報道官、あるいはその他の通信員スカウトは、全国や海外の報道機関からのジャンボリーへの取材に対して応えるという経験をすることがあります。

## ■ IST 情報

### ● 成人エリアでの生活

大会運営スタッフには、7月29日夕食から8月9日朝食までの32食について、本部食堂で食事が提供されます。

これまでのブリテンでもお知らせしていますが、VS-ISTの引率指導者の皆さんの宿泊はVS-ISTエリアになりますので、引率指導者の皆さんのテントも忘れずにご用意ください。

### ● ISTの配属

現在、確定申込を受けて、ヒューマンリソース部

で配属の調整を行っています。配属通知は各県連盟を通じてISTの皆さんにお知らせします。希望に偏りがあるため、全ての方を希望どおりに配属することはできませんが、どの業務も大会の成功のために重要な業務ですので、積極的なご協力をお願いします。

### ● IST トレーニング

7月29日の夕食後から30日の午前中まで、ISTを対象とした全体トレーニングを行い、その後各部への配属を予定しています。配属される業務によっては標準日程と異なる場合があります。



## ■大会ハンドブック

参加者・指導者および IST 向けに大会に関する情報を大会ハンドブックにまとめ、6月末をめどに各都道府県連盟派遣団へデジタルデータを公開します（ブリテン4号記載の3月末公開から変更となりました）。大会ハンドブックでは、大会概要に関する紹介、ジャンボリープログラム、会場での生活、会場施設の紹介

などが掲載されており、ジャンボリーでの生活に役立てていただくことができます。この他にも、参加隊向けに配給食材と調理方法を紹介したクックブックも併せて公開されます。冊子本体は会場到着時に配布するウェルカムキットとして配布されます。

## ■ジャムホテル

16NJでは、各国派遣団の派遣団本部員、スカウトゲストを対象に「ジャムホテル（場内有料宿泊テント）」を提供します。ジャムホテルは成人生活エリア内に設置され、シングルタイプ（1名利用）とツインタイプ（2名利用）があり、1泊利用または大会期間中を通じて利用することができます。ジャムホテルの仕様や費用については、今後各派遣団にご案内します。

利用期間：7月29日（月）午後からチェックイン、8月9日（金）午前中にチェックアウト／最大で11泊12日間の利用が可能  
設置場所：成人生活エリア内

受付：派遣団を通じて事前予約制となります。  
提供内容：

	シングルタイプ (定員1名)	ツインタイプ (定員2名)
全期間 (1テントあたり)	30,000円	60,000円
1泊 (1テントあたり)	5,000円	10,000円
提供設備 (食事は大会本部 食堂)	ドームテント(約 5㎡、通常2~4人 用)、マット、布団 型シュラフ、まくら	メッシュテント(約 17㎡、通常3~4人 用)、ベッド、布団 型シュラフ、まくら

留意事項：食事の提供は含まれません。食費はスカウトゲスト等の参加費に含まれます。

## ■ジャンボリー・ビルド・チーム公募

16NJ / 30APRSJでは、大会の開催にあたって、様々な準備作業や終了後の片付けなどにボランティアを募集しています。ボーイスカウト加盟員でない方も対象にしており、下記の作業に興味がありましたらお申し込みください。なお、2日以上参加された方は、期間中に会場を訪れるデイビジターチケットの特典があります。

募集対象者：高校生以上で心身ともに健康な方

参加形態：以下の準備作業と片付け作業期間のうち、1日単位で募集します。基本は日帰り（通い）としますが、遠方の方はキャンプ泊が可能です。

募集人員：1日あたり10~20人程度

準備作業：7月22日（月）～28日（日）の7日間  
会場の清掃・草刈、キャンプサイトの区割り、看板等の製作・設置、備品等の搬入など

片付け作業：8月10日（土）～12日（月）の3日間  
区割りや看板等の撤去、備品等の搬出、会場の清掃など

作業時間：9時～17時（昼食休憩1時間を含む）  
作業内容により前後することがあります

参加費用：無料（ただし、往復の交通費等をご負担ください）。昼食時に弁当や飲料を提供します。また、キャンプ泊の方には、キャンプ地、朝食と夕食、シャワーを提供します。2日以上参加された方は、期間中に会場を訪れるデイビジターの特典があります

服装・持ち物：作業に適した服装（長袖・長ズボン）、雨具・長靴、帽子、タオル、軍手、飲料などをご用意ください。屋外で作業するため、日除け・暑さ対策に留意してください。なお、キャンプ泊を希望される方は、テント・寝袋・マット等を持参してください

参加申し込み：大会ホームページよりエントリー用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、第23回世界スカウトジャンボリーオフィスまで6月末までにお送りください。

## ■ デイビジター（更新情報）

デイビジターの事前予約販売が始まりました。会場見学を計画されている方はお早めのチケットの購入をお願いします。デイビジターについては、プリテン4号でご案内した計画から一部内容が変更となりました。最新の情報は大会ホームページのデイビジターページをご確認ください。

### ● 見学日程

大会のプログラム実施時間帯を基本に、参加者の場外プログラムバス発着等の混雑を避けた時間設定を行います。また、開会式・閉会式等に合わせた見学時間となりますので、今後の情報にご注意ください。

日 程	見学時間		プログラム・全体行事
	見学者駐車場		
8月1日(木)	14:00～17:00	開会式(午後)	
	13:00～18:00		
8月2日(金)	10:00～17:00	プログラム (モジュール)	
	9:00～18:00		
8月3日(土)	10:00～17:00	プログラム (モジュール)	
	9:00～18:00		
8月4日(日)	13:30～18:00	アリーナショー (午後)	
	12:30～19:00		
8月5日(月)	10:00～17:00	プログラム (モジュール)	
	9:00～18:00		
8月6日(火)	10:00～17:00	プログラム (モジュール)	
	9:00～18:00		
8月7日(水)	16:00～20:00	閉会式 (夕方または夜間)	
	15:00～21:00		

※8月4日は、次の制約がありますので、予めご了承の上、お申し込みください。

- ・見学時間が変更になりましたのでご注意ください。
- ・事前予約のみ受け付けており、当日券の販売は行いません。
- ・多目的ドーム等見学できない場所があります。
- ・アリーナショー開催中はアリーナの入退場が制約されます。
- ・アリーナ入場には、セキュリティチェックが必要になります。
- ・ペットボトル以外、瓶・缶に入った飲み物はアリーナに持ち込めません。
- ・雨天の場合、傘はご利用いただけません。カッパやレインコートをご用意ください。

### ● デイビジター入場料

#### 【入場料金】

○高校生以上1人あたり1,500円

○小学生・中学生1人あたり1,000円

※入場料にはIDやデイビジター用資料などが含まれ

ます。未就学児は無料です。

※プリテン第4号にて、駐車料金の予定についてご案内しましたが、無料に対応できることになりました。つきましては、駐車場利用が必要な場合、駐車台数を把握するためにデイビジター申込受付ページにて車両種別による駐車券の予約をしてください。

### ● 開会式、アリーナショー、閉会式のときの デイビジターについて

8月1日の開会式、4日のアリーナショー、7日の閉会式について、デイビジターには以下のような制約があります。詳しくはチケット販売のサイトに掲載されている諸注意をご確認ください。

#### 開会式・閉会式

アリーナ会場の後方入口から入場いただき、見学者用の場所に着席いただきます。大きな荷物等については中味を確認させていただく場合があり、係員の指示に応じていただけない場合には退場いただくことがあります。

#### アリーナショー

持ち込みできる荷物が厳しく制限されています。全ての手荷物を検査しますので、観覧に不要なものを持ち込まないようお願いいたします。係員の指示に応じていただけない場合には退場いただくことがあります。また、チケット販売時をお願いしている名簿の記入・ないし名簿の提出が必要となります。8月4日のチケット販売に関する説明をよく確認のうえ、事前の名簿提出を確実にお願いします。開会式・閉会式同様アリーナ会場の後方入口から入場いただき、所定の場所に着席いただきます。

#### デイビジターショー

全体行事の行われないうち8月2日、3日、5日、6日には、プラザに置かれる小ステージにて、主にデイビジターの方々に向けた「デイビジターショー」が午前と午後に行われます。

ジャンボリーの様子を紹介したり、各国派遣団のパフォーマンスが行われたり、地元山口の伝統芸能が披露されたりします。

もちろん、参加スカウトにとっても楽しいショーとなります。



## 大会記念品

●ボーイスカウトエンタープライズでは、16NJ大会記念品を販売しています。

### チーフリング



16NJチーフリング ロゴ  
品番/71103  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング いぶし銀  
品番/71105  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 革  
品番/71107  
価格/450円(税込)



16NJチーフリング ふく  
品番/71109  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 山口地図  
品番/71111  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 山口文字  
品番/71113  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 錦帯橋  
品番/71115  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 秋芳洞  
品番/71117  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 日本地図  
品番/71119  
価格/350円(税込)

### ワッペン



16NJロゴワッペン  
品番/71101  
価格/200円(税込)



16NJチーフリング 日本-桜  
品番/71121  
価格/350円(税込)



16NJチーフリング 革まるふく  
品番/71123  
価格/500円(税込)

### バックル



16NJ  
レバーバックル  
品番/71215  
価格/1,200円(税込)

### ピンバッジ



16NJチーフバッジ 水引  
品番/71203  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 山口地図  
品番/71207  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 錦帯橋  
品番/71221  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 日本地図  
品番/71225  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ ふく  
品番/71205  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 山口文字  
品番/71209  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 秋芳洞  
品番/71223  
価格/200円(税込)



16NJチーフバッジ 日本-桜  
品番/71227  
価格/200円(税込)

この他にも以下の記念品を取り扱っています。

- 16NJ ロゴピンバッジ [品番/71201] 200円
- 16NJ LED ライトキーホルダー [品番/71211] 450円
- 16NJ クリアファイル [品番/71213] 200円
- アイフォンカバー 16NJ [品番/71051] 1,200円
- 16NJ ワッペン 桜 [品番/71243] 200円
- 16NJ ワッペン 福太 [品番/71241] 200円
- 16NJ 革スティックストラップ [品番/71252] 350円
- 16NJ 革スティックキーホルダー [品番/71254] 350円
- 16NJ 革キーホルダー [品番/71256] 450円

○今後の発売

- 16NJ チーフリング ポリふく正面 [品番/71125] 400円
- 16NJ チーフリング ポリふく横面 [品番/71127] 400円
- 16NJ チーフリング 福太 [品番/71132] 350円
- 16NJ チーフリング ジャンビー [品番/71134] 350円
- 16NJ チーフリング シカウト [品番/71136] 350円
- 16NJ ピンバッジ 福太 [品番/71232] 200円
- 16NJ ピンバッジ ジャンビー [品番/71234] 200円
- 16NJ ピンバッジ シカウト [品番/71236] 200円
- 16NJ ドックタグ [品番/71217] 350円



16NJチーフリング  
ポリふく 正面

16NJチーフリング  
ポリふく 横面



今後新たな商品販売が予定されており、ボーイスカウト日本連盟ホームページなどで発表します。

## ■ 23WSJ スタディビジット

16NJ / 30APRSJ では、23WSJ のプレジャンボリーとして、23WSJ 派遣団を編成する各国スカウト連盟の派遣団長、または派遣団の主要メンバーの視察が予定されています。

## ■ 16NJ 大会 フェイスブックページ

16NJ 大会フェイスブックページが公開されました。フェイスブックページでは、大会に関する最新情報や各参加隊のニュースなどを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

URL: <https://www.facebook.com/16nj30aprsj>

## ■ ジャンボリーソング

16NJ ブリテン4号でご案内した大会ソングのレコーディングを進めており、6月上旬に音源と歌詞を大会ホームページにて公開します。

## ■ 派遣団レセプション

16NJ ブリテン4号でご案内した派遣団レセプションについて、大会本部食堂を利用し、各派遣団へ案内できることとなりました。今後各派遣団向けに実施可能な日時、費用を申込スケジュールと併せて追加情報としてご案内します。

## ■ 問い合わせ先

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局第23回世界スカウトジャンボリーオフィスまでお願いします。なお、大会への参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお願いします。

## ■ これまでのブリテン

これまでに発行されたブリテンの内容を記載します。

### ● 16NJ ブリテン第1号 (2012年2月発行)

開催概要 / 開催の趣旨 / 参加申し込み日程 / 大会ロゴ・テーマ / 大会コンセプト / プログラムの概要 / 参加カテゴリー / 会場 / オペレーションきらら / ホームステイ / 派遣団の組織 / 参加隊の編成 / 来賓・ゲスト / 派遣団長会議の開催 / 協力をお願い

### ● 16NJ ブリテン第2号 (2012年8月発行)

ジャンボリープログラム / JIJ プログラムキット / 大会日程 / ジャンボリー会場 / 派遣団長会議開催の報告 / 16NJ・30APRSJ に関する Q&A (抜粋) / 参加予定申し込み / 第1次輸送調査の実施 / 会場へのアクセス / 参加費の内訳 / 交代参加 / 班炊事および炊事用燃料 / セーフ・フロム・ハーム

### ● 16NJ ブリテン第3号 (2012年11月発行)

参加確定申込・登録手続きについて / 16NJ 参加に向けた準備 / ジャンボリー会場での生活 / JIJ プログラムガイド / 県連盟広報担当者 / デイビジター / 大会本部の業務と IST カタログ

### ● 16NJ ブリテン第4号 (2013年2月発行)

大会マスコット / 大会ソング / 成人生活エリアの宿泊テントについて / 基本献立 / 派遣団提供プログラム説明 / JDT 説明会 / 県連盟派遣団現地視察会 / 第2回派遣団長会議 / IST 情報 / セーフ・フロム・ハームについて / スカウト通信員・県連盟広報担当者 / デイビジター / スカウトゲスト / 派遣団レセプション / 大会ハンドブック / スペシャル (特別) / ゲスト / ホスト参加者 / オープン参加 / 出演団体の募集 / 参加予定国 / 外国参加隊支給品

## ■ 今後の予定

2013年6月16日 (日) 第2回派遣団長会議

## 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 第23回世界スカウトジャンボリーオフィス

〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3

電話: 03-5805-2569 FAX: 03-5805-2908

E-mail: [23wsj@scout.or.jp](mailto:23wsj@scout.or.jp)

ホームページ: <http://www.scout.or.jp/>